

戦気 NO-14

Fighting Spirit

発行者: 三谷大和
 編集者: 岩井 淑
 八千代市八千代台東1-44-13 三谷大和スポーツジム
 電話 & Fax: 047(486)2476 ツヨクナロー
 メール: mitani-y@khaki.plala.or.jp
 URL: http://www.mitani-yamato.com/

マスコットの
 ごんごちゃんです!



3月9日、二人の高校生ボクサーが後楽園デビューしました。昨年の千葉県高校選手権で優勝し関東大会3位の小林慶行、林諒樹の2選手がプロボクサーに転向しました。

3月9日・後楽園ホール 三迫ジム一門会 小林慶行・デビュー戦勝利!

第1試合にバンタム級で小林慶行が登場した。対戦相手は森下聖選手(新日本木村ジム:1勝0敗)

慶行は終始アグレッシブな戦いをした。ボクシングに勢いがある。1ラウンドから左右のフックに右ストレート、左ボディが度々決まるが、相手のパンチを貰い薄っすらと鼻血を出すスタートとなった。2ラウンドも慶行は前進し、左ジャブ、左フックが決まる。3ラウンドは森下選手がフットワークを使いたし慶行は疲れの、ポイントを取られた。

勝負は最終ラウンドに入り、慶行は腰の入った左ボディを決め判定の結果3:0(39:37.39:37.39:38)でデビュー戦を勝利で飾った。



フルマークで快勝したオニギリ(林諒樹)



林諒樹もデビュー戦勝利!

第5試合にライトフライ級で林諒樹が登場した。対戦相手は小峰大助選手(小熊ジム:1勝4敗1分)

諒樹のニックネームはオニギリである。オニギリコールで登場した立ち上りの1ラウンド、綺麗なワンツーがヒットし小峰選手が早々ダウン。同級生達の応援が凄い。小峰選手は頭を下げて突進するため2ラウンドで減点1を宣告された。

3ラウンドには左ボディ、右ストレートが決まり、4ラウンドはフットワークを活かして小峰選手のパンチをかわす。判定結果はフルマークの3:0(40:34.40:34.40:35)で初勝利!

46年会 第1回ちびっこボクシング教室開催 ☺



2月22日、昭和46年生まれの人たちの会『46年会』が主催する「第1回ちびっこボクシング教室」が三谷ジムで18人の子どもたちの参加で開催されました。

当日は後楽園ホールのリングアナウンサーでおなじみの富樫さんや元日本ランカーの方たちが子どもたちの先生として手とり足とりで「はじめの一步」からボクシングの楽しさを教えていました。

子どもたちにとっては身体を動かすことによって、頭ではなく身体で感じるボクシングを初体験する場となったようでした。ボクシングというスポーツを小さい時から体験することによって、ボクシングが単なる殴り合いではなくスポーツマンシップに則った精神性の高い自己に厳しいスポーツであることが少しでも理解され、ボクシングの裾野が広がっていきなるといいなと思います。



ごんごちゃんは見た!!

マネージャーの涼子です。ジムの運営につきまして沢山の方々からのご支援ありがとうございます。おかげさまで三谷ジムも順調に発展し昨年は全日本新人王を2名誕生させることが出来ました。また、昨年の3月3日の「桃の節句」に元気な産声をあげた「紅彩・くれあ」は、その後の成長も順調で無事に満1歳の誕生日を迎えました。紅彩は離乳食も旺盛に食べ元気一杯です。これからますますと成長し、みなさまに愛されるラウンドガールとなることを願っています。

イノウエ寿 第4戦判定負け

第6試合には井上和寿がリングネームをイノウエ寿と改名しウエイトを2階級上げスーパーライト級で登場した。対戦相手は角田貴佳選手(三迫ジム:デビュー戦)

井上の悪い癖が出て1ラウンドにダウンを喫する。ダメージはなかったが4回戦で2点のハンディはきつい。2~4ラウンドまで果敢に打ち合ったが、判定結果は2:0(39:37.38:37.38:38)で判定負け。パワーはあるがパンチの正確性が必要。

三谷会長のコメント

慶行もオニギリ(諒樹)も魔物が棲む

デビュー戦だったので出来は20%

だったが、二人とも勝つことが目的

だったので勝てて良かった。二人と一緒に関東大会に出場したのだし今日も二人とも勝てて良かった。

井上は全部1ラウンドでダウンしているが、あれだけのボクシングが出来るのだから次につながっていく。勝ち方を覚えるべきだ。スタミナはあるので早く6ラウンドを戦う選手になって欲しい。

第66回・東日本新人王トーナメント戦

2月10日、チャンピオンへの登龍門「第66回東日本新人王予選」の組み合わせ抽選会が東京・後楽園ホール展示場で行なわれ対戦カードが決定しました。三谷ジムからは岩井大のみがスーパーフェザー級にエントリーしました。

3月30日から1回戦がスタートし、11月の東日本決勝、12月の全日本決勝に向け、倒し倒されるサバイバルマッチが展開されていきます。

岩井大は4勝を挙げているのでシード選手として3回戦から出場しますが、今年のスーパーフェザー級は最大の29名がエントリーしている最激戦区です。体調管理をしっかりし全力で戦ってほしいと思います。

スケジュール

4月24日 鬼が島竜、斎藤司、加藤健太

編集後記

三谷大和スポーツジムの『戦気』ニュースとホームページをリンクして作成しています。昨年7月下旬にリニューアルしたホームページは7ヶ月でアクセス数は1万を超えました。それだけ多くの方が三谷大和ジムの動向に注目している結果だと思えます。ジム生の諸君!君達は注目されていることを念頭に練習に励もう。ガッツだ!